非常時持ち出し品

チェックリスト

災害後の救助や救援物資の到着までに最低限必要なものは準備しておきましょう。

□マスク 貴重品 □ビニール袋 □ 現金 (小銭を含む) □アルミ製保温シート ※公衆電話用に10円玉、100円玉 □車や家の予備鍵 □毛布 □予備の眼鏡、コンタクトレンズなど □スリッパ □銀行の□座番号・生命保険契約番号など □軍手か皮手袋 □健康保険証 □マッチかライター □身分証明証(運転免許証、パスポートなど) □給水袋 □雨具(レインコート、長靴など) □印鑑 □母子健康手帳 □レジャーシート 情報収集用品 □簡易トイレ □携帯電話(充電器を含む) 清潔・健康のためのもの □携帯ラジオ(予備電池を含む) □ 救急セット □家族の写真(はぐれた時の確認用) □ 常備薬・持病薬・お薬手帳 ■緊急時の家族、親戚、知人の連絡先 □タオル □ 広域避難地図(ポケット地図でも可) □ トイレットペーパー □筆記用具 □ 着替え(下着を含む) □ ウェットティッシュ (お手ふきシート) 食料など □消毒液 □非常食 □飲料水 □ ハミガキ 便利品など □ハブラシ □防災ずきんかヘルメット □洗□剤 □懐中電灯(予備電池を含む) その他 □ 笛やブザー (音を出して居場所を知らせるもの) □ 紙おむつ (幼児用・高齢者用など) □万能ナイフ □生理用品 □使い捨てカイロ □ 粉ミルク・哺乳瓶 (赤ちゃんに必要なもの) □その他自分の生活に欠かせないもの ●非常時持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。●避難の妨げにな らないように、軽くコンパクトにまとめましょう。●自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょ う。●自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。●定期的に中身をチェックしましょう。 参考:日本赤十字社東京都支部「非常時の持ち出し品·備蓄品チェックリスト」



ライオン株式会社

〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28 お客様センター tel: 0120-556-913

災害時の 清潔・健康ケア





災害時は、避難所生活や水不足など、 生活していく上で衛生上のリスクが 高まるため、体を清潔に保ち、健康 に留意することが重要となります。



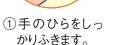
災害時は常に手を清潔に保ちましょう。

災害時にはいつもより手が汚れがちですが、 きれいな水が不足し、手洗いが難しいことがあります。

♪ 水で手洗いできないときの手指のケア方法

ぬれティッシュやお手ふきシートを使って、手指をキレイにふきましょう。







②シートを裏 返して 手の甲をふきます。



③親指の腹から指 先にかけて汚れ をふきとります。

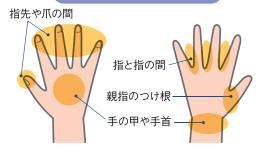


④人差し指から小 指を親指と同様 にしてふきます。

手をキレイにするタイミング

- ●食事の前
- トイレの後
- ●おむつの交換の後
- ●作業の後
- 動物などにふれた後

汚れが残りやすいところ



▶ 水で手洗いできないときは食事にも注意を

食中毒を起こさないように、いつも以上に清潔を心がけましょう。

- ●食べ物を素手で触らない 食事のときには、箸・フォーク・スプーンを 使いましょう。
- ●食べる分だけ作って残さない 食品が腐ると食中毒の原因になるので、 食べ残した食品は思い切って捨てて しまいましょう。

災害時にはオーラルケアも、とても大切です。

オーラルケアが不十分だと、ムシ歯や歯周病だけでなく 感染症や誤嚥性肺炎などのリスクも高まります。

■ ハブラシはあるものの水が少ないときの歯みがきの方法*

水が不足しているときも、ハブラシで歯をみがくことが最も大切です。

コップに少量の水を入れ、 その水でハブラシをぬらして 歯をみがきます。

ハブラシが徐々に汚れてくるので、 ティッシュなどで汚れをふきとり、 またみがくを繰り返します。



- → 最後にペットボトルの水で口をすすぎます。
- ●洗口剤がある時は、あわせて使うとより効果的です。

■ ハブラシがなく水も不足しているとき

ペットボトルの水やお茶を少しだけお口のケアに使うのも良いでしょう。

ペットボトルのキャップ 1~2杯の水や お茶を口に 1杯 含みます。

歯と歯の間に水やお茶を通しながら、 ∠ 舌の上や口の中全体に 行きわたるように

「くちゅくちゅ」と 数回繰り返します。

- ●「朝起きた時」「食べた後」「寝る前」などこまめに行いましょう。
- ●ティッシュで歯の汚れをふきとるのも効果的です。

※出典:水が少ないときの歯みがきの方法 日本口腔ケア学会・全国在宅療養支援歯科診療所連絡会のHPを参考に作成 オーラルケア情報に関する監修:東京医科歯科大学中久木 康一先生

日頃からオーラルケアを心がけ、お口を健康な状態に保っておきましょう。 災害時の清潔ケアに関するくわしい情報はこちら

